

第 8 回総会議事要旨

2024 年 2 月 6 日

日時：令和 6 年 2 月 5 日（月）15 時から 16 時 30 分まで

場所：大手町三井カンファレンス 4 階 ROOM8（オンライン形式併用）

1 開会

2 審議事項

（議案 1）実施運営計画 ver.2.0（案）について：異議なし

■委員による主な意見など

○今後の展開について

- ・来年度以降のイベント開催について検討されていれば共有して頂きたい。
- ・今回のショーケースプログラムイベントが一過性のイベントや施策とならないようにして頂きたい。
- ・海の森エリアなどは今回のイベントに限らず、サステナブルなイベントの誘致を促すなどイベント後も活用して頂きたい。

○ショーケースプログラムイベントの成功の定義及び効果測定について

- ・イベントの成功の定義について、来場者数よりも社会変化が重要ではないか。
- ・本イベントで描いた未来がどれだけ社会実装されるかという観点も重要ではないか。短期間で判断せず、一定期間を設けて判断すると良いのではないか。
- ・来場者数などの基本的な事項はあるものの、一番は「個々人の Sustainability に対する意識がどう変わったのか」だと考えており、イベント参加前と後での変化を見たい。
- ・イベント参加前の意識をどう調査するのか工夫が必要である。エンタランスで楽しく回答出来るような仕組みがあると良いのではないか。
- ・イベントで集まった意見をどうレポートするのかを考えたい。何のためにイベントを開催するのかという点を表明する方法は意識変容の調査とつながってくると考える。

○ショーケースプログラムイベントの趣旨・目的について

- ・今回のイベントを一言で言うと何なのか、言語化がまだ曖昧な印象がある。「都民と 2050 の未来・サステナブルを学ぶ」、なのか、「サステナブルの取組を紹介」なのかなど。
- ・サステナビリティの中には、環境だけでなく、社会の健全性、多様性やウェルビーイングなども含まれているのではないか。
- ・東京都は老若男女、障害のある方、こどもを含め多様な方がいて、国際都市東京が持続可能な未来を作っていくことができると考えている。東京都を打ち出していく上で、強み

であるダイバーシティ&インクルージョンを意識していただきたい。

○ショーケースプログラムイベントのアプリ設計について

- ・イベントコンテンツがとても多いので、一覧にして分かりやすくするなどした上で、会場の回遊性を高めるようなアプリ設計にして頂きたい。
- ・イベント当日の情報量が多いので、何をどのようにアプリ内で表示させるかなど、情報を整理することは重要だと考える。
- ・スマホユーザーだけが楽しめるイベントの体験設計は、ターゲット、参加者を限定してしまうため、アプリを前提としたイベントの体験設計は避けて頂きたいと考えており、スマホが無くても楽しめるような配慮は必要だと考える。

○ショーケースプログラムコンテンツ及び協賛計画について

- ・将来に向けた意思決定者に今回のイベントのコンテンツが届くよう、働きかけていくことが重要。
- ・ダイバーシティの観点から登壇者のジェンダーバランスには改めて意識して頂きたい。
- ・協賛企業の状況が把握できるリストを共有して頂きたい。

○ショーケースプログラム広報計画について

- ・イベントをより分かりやすく伝えるために、分かりやすい各ベニューのロゴ・タイトルを更に活用して頂きたい。
- ・イベント会期が近づいてきており周知にも協力できる部分があるので、今後の広報計画についてもスケジュールとして提示して頂きたい。
- ・広報活動の効果がまだ十分とは言い難い。ここからの伸びしろに期待している。

(議案2) 令和6年度事業計画及び収支予算書(案)について: 異議なし

(議案3) 令和6年度協定書(案)について: 異議なし

3 報告事項

諸規程の変更について

4 その他

今後のスケジュールについて

5 閉会

以上